

# 又市議会だより

ぬまづ

令和8年2月15日  
第251号



市議会本会議場で行われた令和8年(第28回)二十歳の議会

※関連記事はP.12

## ピックアップ議会

- 沼津市斎場条例・沼津市都市公園条例・沼津御用邸記念公園条例の一部改正  
R 8 年 4 月から斎場・テニスコート・御用邸記念公園の料金を改定します。… P.2

## 市政について問う！

- 14人の議員が一般質問を行いました …… P.4～7

## 委員会レポート

- 委員会の行政視察報告 …… P.9～11

なぜそれらの条例を改正するの？



近年の人件費や物価の高騰等により、施設の運営経費が増加していることから、適正な受益者負担を図ることや近隣市町との均衡を確保することなどを目的に各施設における市外利用者等の料金を改定し、安定した施設運営をするものです。

① 斎場

	区 分	市外住民にかかる使用料
火葬料	12 歳以上	30,000 円
	12 歳未満	10,000 円
	死 胎	5,000 円
焼却料	身体の一部等	5,000 円



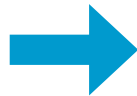
	区 分	市外住民にかかる使用料
火葬料	12 歳以上	50,000 円
	12 歳未満	30,000 円
	死 胎	20,000 円
焼却料	身体の一部等	20,000 円

② テニスコート



区 分	基本使用料	
一般	1 面 2 時間につき	830 円
児童・生徒		410 円

大岡公園  
テニスコート



区 分		基本使用料	
一般	市内	1 面 2 時間につき	830 円
	市外		1,660 円
児童・生徒	市内	1 面 2 時間につき	410 円
	市外		830 円

区 分	基本利用料金	
一般	1 面 2 時間につき	1,460 円
児童・生徒		730 円

愛鷹運動公園  
テニスコート



区 分		基本利用料金	
一般	市内	1 面 2 時間につき	1,460 円
	市外		2,920 円
児童・生徒	市内	1 面 2 時間につき	730 円
	市外		1,460 円

③ 御用邸記念公園

区 分	個人 入園料	団体入園料 (30 人以上)
大人 1 人 1 回につき	100 円	60 円
小・中学生 1 人 1 回につき	50 円	30 円

本邸苑地  
西附属邸苑地  
東附属邸苑地



区 分		個人 入園料	団体入園料 (20 人以上)	年間 入園料
一般	市内	100 円	60 円	1,000 円
	市外	300 円	200 円	
児童・生徒	市内	無 料		1,000 円
	市外	100 円	60 円	

区 分	個人 観覧料	団体観覧料 (30 人以上)
大人 1 人 1 回につき	310 円	200 円
小・中学生 1 人 1 回につき	150 円	100 円

西附属邸



区 分		個人 観覧料	団体観覧料 (20 人以上)
一般	市内	300 円	200 円
	市外	300 円	200 円
児童・生徒	市内	無 料	
	市外	150 円	100 円

沼津市斎場条例・沼津市都市公園条例・沼津御用邸記念公園条例の一部改正  
令和 8 年 4 月から斎場・テニスコート・御用邸記念公園の料金を改定します。





## 11 月定例会の主な内容

第11回（11月）定例会を、11月20日から12月15日までの26日間にわたり開催しました。  
この定例会では、令和7年度補正予算議案等15件を審議し、議決しました。

また、14人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。（P.4～7）

### 主な議案一覧

	議案名	内 容	議決結果
条 例	議第86号 沼津市立沼津高等学校の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部改正	■沼津市立沼津高等学校の教育職員の給与における教職調整額の規定を改めます 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部改正に伴い、沼津市立沼津高等学校の教育職員の教職調整額を令和8年1月1日から段階的に引き上げるものです。	可決
	議第87号 沼津市斎場条例の一部改正	■市外住民に係る火葬料及び焼却料を改めます 適正な受益者負担を図るため、死亡時に市民でなかった者の火葬料及び使用者が市民でない場合の焼却料を改定するものです。	可決
	議第88号 沼津市都市公園条例の一部改正	■市外住民に係る大岡公園のテニスコート使用料及び愛鷹運動公園のテニスコート利用料金に関する規定を改めます 安定した施設運営を図るため、コート使用料（大岡）及びコート利用料金（愛鷹）について、市外区分を設定するなど、規定を改めるものです。	可決
	議第89号 沼津御用邸記念公園条例の一部改正	■市外住民等に係る沼津御用邸記念公園の入園料等に関する規定を改めます 安定した施設運営を図るため、有料区域の入園料及び有料施設の観覧料について、市外区分を設定するほか、年間入園料区分の追加や団体の適用人数変更など、規定を改めるものです。	可決
予 算	議第92号 令和7年度沼津市一般会計補正予算（第7回）	■29億5,178万1,000円を追加し、予算総額は991億4,640万5,000円となります 追加するものは、財政調整基金積立金29億3,782万8,000円、清掃プラント整備事業費1,030万円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として大手町片浜線整備事業1億3,698万8,000円を追加するものです。	可決
契 約	議第95号 工事請負契約の締結（沼津市民文化センター空調設備（熱源）等更新工事）	■沼津市民文化センターの空調設備（熱源）等更新工事を行います 制限付き一般競争入札により2億7,139万2,000円で株式会社レイダン代表取締役 土屋善久と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、市民文化センター空調設備（熱源）等更新工事を行うもので、完成期限は令和9年7月8日です。	可決
そ の 他	議第85号 土地改良事業の緊急防災工事計画を定めること	■内浦重須地内の畑かんため池において、土地改良事業の緊急防災工事計画を定めます 内浦重須地内の畑かんため池において、農村地域の防災・減災を目的として、令和8年から令和12年の5か年で堤体や取水施設等の改修工事を行う計画を定めるものです。	可決

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



### YouTube で委員会の録画配信をしています

本会議から付託された議案等の審査は、各常任委員会で行っています。

各常任委員会や議会運営委員会の様子は、YouTubeで視聴できます。

※休憩時間の削除等の映像編集後、速やかにアップロードし、一定期間公開しています。

広報

- ▶ 議会だより
- ▶ 議会中継（外部リンク）
- ▶ 委員会中継
- ▶ 議場見学のご案内
- ▶ 沼津市議会100周年記念誌
- ▶ 沼津市議会特別表彰

市議会  
トップページの  
ここをクリック



掲載ページはこちら

市 政 に つ い て  
問 う !

# 一般質問

第十一回（十一月）定例会では十四人の議員が市政について質問しました。



議員名	主な質問項目	掲載頁
佐藤健一郎	災害時の生活用水の確保に関する取組	4
大草 満	教職員の働き方改革／自治会活動のデジタル化	4
深田 昇	放課後児童クラブの運営／高齢者福祉の増進	5
渡部一二実	防災・減災対策や復旧対策等の質的向上	5
浅原 和美	市長の政治姿勢について	5
高橋 達也	鉄道高架事業の今後の方針	5
渡邊 博夫	市民サービス／効率的行政運営／人事管理／水道施設の老朽化対策	6
加藤 明子	自治会役員の負担軽減／民生・児童委員の処遇改善	6
片岡 章一	地域共生社会の実現／小中学校の不登校対策	6
小泉 宣子	ラーケーション制度導入／難病患者支援／投票しやすい環境整備	6
大川敬太郎	本市保有の資産・設備のさらなる活用について	7
山下富美子	公共施設マネジメント計画／災害対策本部庁舎の非常用電源不足	7
川口 慶	小規模事業者の支援／読書活動推進	7
平野 謙	犯罪被害者等支援の取組	7

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像を視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P8の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

## 教職員の負担軽減に向けた取組は

**問** 教職員の負担軽減に向けた本市の取組は。

**答** **教育次長**／本市ではスクールサポートスタッフ、児童生徒支援員等の配置や留守番電話対応、部活動の地域展開や、水泳授業の民間委託化の推進、チーム担任制等の導入により、教職員の負担軽減を図っている。今後も成果が見られる好事例を各校と共有し、負担軽減を図ることにより、児童生徒と向き合う時間を確保し、教育の質の向上に努めていく。

**問** 自治会活動のデジタル化を推進するための支援策は。

**答** **政策推進部長**／デジタル化の進捗は自治会ごとに差異があり、本市自治会における全体的な推進を図るには、行政による様々な支援の在り方が求められると認識している。このため、市としては地域コミュニティ人材育成講座において、自治会活動のデジタル化に取り組む事例紹介等による啓発を継続するとともに、今後の支援の在り方について検討していく。また、費用面での課題については、無料で利用できるアプリ等の活用などを促しながら、他市の事例等についても研究していく。

大草 満



## 災害時における生活用水確保の取組は

**問** 災害時における生活用水の確保について、①本市の取組は。②地域で地下水を利用する上での課題と進め方は。

**答** **危機管理監**／①本市はこれまで自主防災組織への支援を通じ、地下水の利用促進を進めてきた。令和六年度からは防災指導員と共に地下水の活用について検討を開始し、令和七年度は市内で使われている井戸水等の実態調査を行った。その結果、二百三十か所を超える地下水の情報を把握したほか、地下水を利用する二十の事業所から災害時の地域協力を

の承諾を得た。このように、本市では多くの地下水が日常的に利用されていることから、災害時には共助の利用により対応していく。②使用可能な地下水は、地域によって数や活用方法が異なる。また、井戸等の多くは私有財産であり、民有地に存在するため、所有者と地域間の良好な関係づくりや平時からのルールづくりが重要である。今後は、市内における地下水の管理・活用等の事例を共有するとともに、他市町の制度等も参考にし、災害時に円滑な利用ができるよう努めていく。

佐藤 健一郎





## 洪水予測が可能な Water Visionの導入可能性は

**問** 水災害について、①避難指示を発令するタイミングや判断基準、避難指示等が伝わりにくい夜間における対応策は。②三十六時間先を見据えた洪水予測が可能なWater Visionの導入可能性は。

**答** 危機管理監／①国、県及び市が持つ情報を統合し、関係課と協議した上で避難指示の判断をしている。また、市民が安全に避難できるよう早めの判断を基本とし、可能な限り明るい時間帯に避難指示を発令する運用としているが、災害危険度が急激に高まった場合、夜間であっても

同報無線やSNS、防災アプリによる情報発信を行っている。また、自治会を通じて呼びかけや消防団による巡回広報など、複数の伝達手段を組み合わせている。②長時間先の河川氾濫の時間帯や地域を早期に把握することにより、避難所の開設など事前の準備を計画的に進めることが可能になると考えている。観測予測や情報通信の技術進展が加速し、新たな技術の活用が広がっているため、国や民間事業者の技術動向等について調査研究を進めていく。

渡部 一二実



## 沼津市老人クラブ連合会 未加入クラブ等への補助の考えは

**問** 沼津市老人クラブ連合会加入クラブの維持・拡大に取り組みながら、公平性の観点から未加入クラブやその他団体への補助を検討する考えは。

**答** 市長／連合会に未加入ながら、自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、ボランティアにより地域を豊かにする活動を行う自主的なクラブへの支援は重要である。その支援の在り方は、補助金以外にも各種講師の派遣やボランティア活動に必要な資材等の提供、仲間を募るための周知への協力など、様々な考えられ、できる限り積極的に協力し

ている。一方で、他自治体においては、連合会未加入クラブへの補助金を自治会への補助金に統合した例や、補助金の交付対象を広げた結果、連合会の縮小を早めてしまった例もあり、効果が見極められない状況にある。長い間、本市の老人クラブ活動を牽引してきた連合会とそれを構成するクラブの会員が年々縮小している状況を加速させる取組には慎重にならざるを得ないことから、引き続き国・県の動向と他自治体の状況を参考にしつつ、クラブ活動の活性化に取り組んでいく。

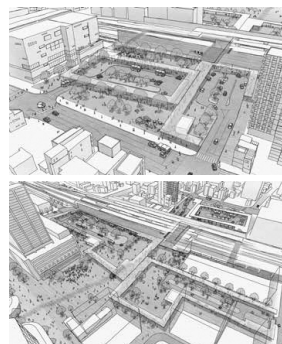
深田 昇



## 次世代モビリティを導入する考えは

**問** 鉄道高架後に次世代モビリティを導入する考えは。

**答** 沼津駅周辺整備部長／令和六年度に立ち上げた沼津駅舎・駅前広場等デザイン検討会議において、駅の南北・東西や駅周辺のまち、沼津港などの観光資源とのつながりを考慮するとともに、交通機能や広場機能、商業機能などの検討を行い、鉄道高架後のデザインイメージを示す沼津駅舎・駅前広場等デザイン基本計画の策定を進めており、この中で、路線バスの乗降場の集約化、民間施設・公共施設の立地や沼津駅と沼津港を



▲鉄道高架後のデザインイメージ  
沼津駅北口（上）と南口（下）

結ぶ次世代モビリティの導入についても検討している。モビリティ分野は自動運転技術など飛躍的な技術革新が見込まれていることから、現時点においては、デザイン性に優れた一定程度の輸送力を持つモビリティを想定している。

高橋 達也



## これまでの市政運営の総括は

**問** 市長の政治姿勢について、①市政二期目の自己評価と課題認識は。②今後の市政運営に対する考えは。

**答** 市長／①第五次沼津市総合計画に掲げる都市の将来像である、人・まち・自然が調和し、躍動するまちの実現に向けて、鉄道高架事業や新総合体育館の整備など様々な事業を計画的・総合的に取り組んできた。その結果、社会動態はプラスを維持するとともに、政策評価指数であるまちづくり指標も良化しているなど、着実な成果を上げることができた。課題は、人口減少が避けられない状況の中で、

況の中、都市の活力を維持していくために定住人口を確保することであり、本市が多くの方々には選ばれる自治体になるよう都市の魅力を顕在化し、発信していくことで住み続けたいと思えるまちづくりを進めていくことが必要であると認識している。②市全体で様々な事業を展開しており、歩みを止めることなくしっかりと前に進めていくことが大事である。再度市長を担えるならば、笑顔で生き生きと活動できる、誇り高い元気なまち沼津の実現に向け全力で取り組んでいく。

浅原 和美



## 自治会長の負担を 軽減するための取組は

**問** 自治会長が抱える負担について、①現状に対する認識は。②事務負担を軽減するための取組は。

**答** 政策推進部長／①自治会は、地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、その代表を務める自治会長は、本市が推進する市民自治のまちづくりにおいて大変重要な役割を担っているものと認識している。

一方で、委嘱委員の推薦や提出書類の作成など、市からの依頼事務への対応が自治会長の負担となっていることが課題であると認識している。

②自治会長の負担軽減は、個々の負

担軽減にとどまらず、自治会組織の持続可能性を向上させる重要な取組であることから、本市では、これまでに各種補助金の申請や振込に係る書類の簡略化を行ったほか、一部の書類はウェブによる提出も可能にするなど、負担軽減に取り組んできた。今後さらなる事務の効率化や提出書類の削減を図るため、自治会長に対してアンケートを実施するとともに、関係各課に調査を行った上で、自治会長が作成・提出する書類を改めて精査するなど、引き続き、全庁的に提出書類の削減を推進していく。

加藤 明子



## 効率的な行政運営を目指す 人事管理の取組状況は

**問** 市民サービスにおける効率的な行政運営を目指す人事管理について、①庁内組織の見直しと職員配置の最適化を図る取組は。②職員の意欲を引き出す評価・登用制度の改善に向けた取組は。

**答** 総務部長／①沼津市定員管理方針に基づき、原則としてポストやセクションの増設、細分化を控え、適正な職員配置を行うことにより、組織肥大化を防ぎつつ、既存組織のポテンシャルを最大限有効活用するよう努めている。また、所属内において

中が生じないよう業務の細分化や再配分等を行っている。②職員の意欲喚起と組織力強化を目的に、令和六年度に人事評価制度の改定を行い、評価シートを見直しして目標設定とフィードバックの精度を高めるとともに、人事評価結果を勤勉手当に反映している。また、評価者研修や運用ルールの整備、評価結果を反映した任用・昇給・研修配分により、能力開発と公正な処遇を両立させている。今後も定期的な検証で透明性・納得性の向上を図り、職員の成長と組織の発展につなげていく。

渡邊 博夫



## ラーケーション制度導入に対する 本市の認識は

**問** 市内小中学校へのラーケーション制度導入に対する認識は。

**答** 教育次長／本制度は、児童生徒と保護者等が平日だからこそできる学校外での体験活動を一緒に考え、実行することで、主体的な学びや探究的な学びを促進する効果があると考えている。導入については、一部の学校における先進実施等の方法も考えられるが、保護者等の状況により制度の活用が困難な家庭があるなどの課題もあることから、県をはじめ、他市等先進事例の動向を注視し、慎重に検討をしていく。

**問** 難病患者に対する市有施設の利用料の減免について、本市の対応状況は。

**答** 市長／これまでも障害者手帳所持者だけでなく、指定難病受給者証を所持している人も対象に、市営香貫駐車場の料金など一部市有施設において減免を実施してきた。今後は、現在、障害者手帳所持者のみを減免対象としている施設について、指定難病受給者証を所持している人も対象とした場合の施設利用料減免等の効果や影響等を調査した上で、実施に向けて検討していく。

小泉 宣子



## 不登校等対策として設置した 校内フリースペースの取組内容は

**問** 学校や教室に行くことが難しい児童が安心できる居場所をつくるため、令和七年度に余裕教室を活用して試行的に設置した校内フリースペースについて、①パイロット校での取組内容と課題は。②今後の展開は。

**答** 教育長／①児童が自分のペースで学習を進めたり、生活のリズムを整えたりするために支援員を配置し、サポートする体制を取ること、不安なく学校生活を送ることができるよう居場所となるよう努めている。課題としては、学習内容によっては、周

りから遊んでいると勘違いされやすいため、学習内容によっては、周知や説明が必要である。②今後の展開は、試行的に設置している四校の利用状況等の検証を通して、児童の表れや運営上の課題等について協議しているところである。今後も、不安なく学校生活を送ることができるよう居場所となるよう全ての小学校への設置を視野に入れ、検討していく。

片岡 章一



## 公共施設マネジメント計画における試算と現状との乖離に対する認識は

**問** 沼津市公共施設マネジメント計画では、新中間処理施設や市役所庁舎の改修・更新について、その試算を平成二十五年度の単価で行っている。物価高騰の今、現状と大きく乖離していると思うが、本市の認識は。

**答 財務部長** 新中間処理施設等の改修・更新コストは、総務省が示した公共施設等更新算出ソフトで用いている平成二十五年の基礎単価に基づき算出している。建築単価はこの十年で上昇しており、本計画に用いた単価と実際の建設コストに乖離が生じているものと認識している。

**問** 災害対策本部が設置される庁舎の非常用電源は七十二時間以上の稼働時間が求められている。しかしながら、消防庁の調査によると、本市は二十四時間未満の稼働時間であり、七十二時間以上の確保策は時期未定・予定なしとしている。本件の緊急性に対し、公共施設マネジメント計画改定時における検討の有無は。

**答 財務部長** 非常用発電機については、本計画の策定作業において検討対象としていない。現庁舎での対応と新庁舎建設については、随時検討を進めている。

山下 富美子



## 市有財産の利活用に対する考えは

**問** 市有財産を特定の目的だけの資産ではなく、地域の価値を生み出す資源として、地域振興や産業振興等に活用する考えは。

**答 市長** 市有財産は、おのの目的を持って保有しているものであり、その目的や法令に基づいた運用が求められている。一方で、新たな価値を生み出す資源として市有財産を有効活用していくことは重要であると考えていることから、本来の目的を果たしつつ、法令の範囲内で可能な限り柔軟な活用方法を検討し、有効かつ効果的に活用できるよう努めている。

**問** 災害用として整備された市有財産の平時における利活用の可能性は。

**答 危機管理監** 防災用の市有財産は、災害時の確実な稼働を最優先として整備しており、原則として平時利用は想定していない。一方、防災倉庫内の資機材については、防災訓練等で使用し、用途や使い方の理解促進に活用している。今後、平時利用を検討する場合には、災害対応の妨げにならないよう整理すべき課題があるため、他市町の事例を参考にしながら調査研究していく。

大川 敬太郎



## 犯罪加害者の家族に対する支援は

**問** 犯罪加害者の家族に対する支援について、①本市の認識は。②具体的な支援策は。

**答 政策推進部長** ①加害者の家族は、加害者本人とは別人格であり、誹謗中傷などの行為はあってはならないが、社会的な孤立など、深刻な状況になることも考えられる。生活の基盤を失い、経済的に困窮した加害者家族などに対しては、生活支援が必要な場合があることに加え、社会的な非難・誹謗中傷などに遭った場合には心理的支援等も必要となると認識している。②市民相談センタ

ーにおける相談対応や法テラスの弁護士相談などの専門家の支援のほか、経済的な基盤を失った場合の生活支援として各種福祉サービス等が考えられる。さらに、脅迫や暴行などの犯罪行為を受け、犯罪被害者として認められる場合は、犯罪被害者等支援条例に基づいた支援を行う。また、小中学校においては、スクールカウンセラー等の専門家による心理的・福祉的な直接的支援はもとより、周りの児童生徒に対してもケアを行い、全ての児童生徒の学習環境を守るよう配慮していく。

平野 謙



## インボイス制度の対応に係る事業者支援の状況は

**問** 本市のインボイス制度の対応に係る事業者支援の状況は。

**答 産業振興部長** 本市では、沼津商工会議所などの支援機関と連携し、確定申告の事前指導や新たに制度の導入を検討している事業者に対する専門家の派遣など、個々のニーズに対応した支援を実施している。そのような中、事業者からは経過措置である二割特例の適用期限後の負担増に対する不安をはじめ、既存システムの改修費や経理事務の増加による人件費、税理士への顧問料などの経費の増加を懸念する声が寄せられて

いる。このような声に対し、市としては、ぬまづビジネスサポート連絡会で情報を共有し、案件ごとに各支援機関が個々に対応するとともに、システム改修等の経費に関する相談については、小口資金利子補給制度等による資金調達支援を実施している。今後も、このような取組を通じて、事業者に寄り添い、インボイス制度への円滑な移行に努めていく。



▲ワンストップ相談窓口の様子

川口 慶





## 用語解説



### ※1 スクールサポートスタッフ (P.4)

学校の指導・運営体制の強化・充実を図るため、学校において教員と連携協働しながら不可欠な役割を果たす支援スタッフのことで、現在は、学校教育法施行規則において、「教員業務支援員」として名称と職務内容が規定されている。主な業務は、学習プリントや家庭への配布文書等の各種資料の印刷、配布の準備、採点業務の補助、学校行事や式典等の準備補助等がある。

### ※3 次世代モビリティ (P.5)

新しい交通手段や交通システムの総称で、AI 等を活用した自動運転技術などの最先端技術を取り入れて進化した移動手段をいう。

### ※2 チーム担任制 (P.4)

学級担任を1人に固定せず、複数の教員がローテーションで1つの学級を担当する仕組みのこと。

これにより、1人の担任に負担が集中せず、生徒指導や学習支援において、多面的かつ柔軟な対応が可能となるほか、教員間の連携を深め、教育の質向上及び働き方改革の切り札としても期待されている。

### ※4 ラーケーション (P.6)

学習（ラーニング）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、子どもが保護者等と共に、学校外での体験や探究の学び・活動を自ら考え、企画し、実行することができる制度。

校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とならず、忌引・出席停止等と同じ扱いになる。



## 議員研修会を開催しました



令和7年10月29日、早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員 清水克士氏を招き、「災害時における地方議会・議員の役割」と題して、議員研修会を開催しました。

研修では、大規模災害などの非常時に行う議会や議員の役割、行動方針等を定めた業務継続計画（BCP）の策定等について講義があり、大規模災害時における議員の具体的な行動等について理解を深めました。

本市では、南海トラフ地震のほか津波・洪水・土砂災害など様々な自然災害の発生が予想されており、本研修会で学んだことを今後の議会活動に生かしていきます。

## 委員会の行政視察報告

### 総務経済委員会

所管：総務部、政策推進部、財務部、産業振興部、出納事務局、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、議会事務局、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

【委員長】井原三千雄  
【副委員長】村木 豊  
【委員】大川敬太郎  
山下富美子  
加藤 明子

小泉 宣子  
深田 昇  
高橋 達也



尾藤 正弘  
梶 泰久

まずは行政視察を  
行った委員会を  
紹介します！

※令和7年12月15日現在



### 議会運営委員会

円滑な議会運営のため、会期中・閉会中を問わず、議会運営全般について協議し、意見調整を図っています。議会運営委員会で確認・決定した事項は、本会議や委員会の運営等に関する基準となるなど、議会における様々なルールを確立させています。

【委員長】長田 吉信  
【副委員長】加藤 明子  
【委員】浅田美重子  
高橋 達也

村木 豊  
浅原 和美  
深田 昇



### 民生病院教育委員会

所管：市民福祉部、生活環境部、市立病院及び教育委員会の所管に属する事項

【委員長】渡邊 博夫  
【副委員長】浅田美重子  
【委員】高橋 秀子  
小澤 隆  
渡部一二実



堤 飛鳥  
江本 浩二

佐藤健一郎  
長田 吉信

### 建設水道危機管理委員会

所管：都市計画部、沼津駅周辺整備部、建設部、水道部及び危機管理課の所管に属する事項

【委員長】大草 満  
【副委員長】平野 謙  
【委員】川口 慶  
佐野 博一  
浅原 和美



大場 豪文  
片岡 章一

久保田吉光  
植松 恭一

### 沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会

沼津駅周辺総合整備事業の中核をなす鉄道高架事業の整備を推進するとともに、魅力ある中心市街地のまちづくりの実現に向け、要望活動や調査研究等を行います。

【委員長】浅原 和美  
【副委員長】小泉 宣子  
【委員】佐藤健一郎  
平野 謙  
植松 恭一

大草 満  
井原三千雄  
村木 豊  
渡邊 博夫



## 議会運営委員会

令和7年8月6日～8日

滋賀県米原市、愛知県弥富市、石川県金沢市 「議会運営・議会改革の取組」



▲議会運営に係る先進的な取組を視察（米原市）

米原市では、傍聴者等に一般質問の内容を分かりやすく伝えるため、通告書式を統一のルールで明確化するとともに、質問者の発言に合わせて随時、質問通告を録画映像にテロップ表示をしている事例を学びました。

弥富市では、議員が市民から信頼される基盤を作り、公正で民主的な市政の発展に資することを目的に、議員活動を行う際に遵守すべき行動基準を定めた政治倫理規程の制定に至る経緯を学びました。

金沢市では、市政の執行を常に監視できるようにすることなどを目的におおむね6月から翌年3月までを会期とする通年議会を平成26年から導入しており、その経緯や本会議の運営等について学びました。

各取組を参考に、引き続き、開かれた議会に向けた議会運営を進めてまいります。

# 行政視察報告

## 民生病院教育委員会

令和7年11月5日～7日

東京都新宿区 「プラスチック資源一括回収及びモバイルバッテリーや小型充電式電池が内蔵されているものの処分について」

富山県富山市 「プラスチック資源一括回収について」

長野県長野市 「学校部活動の地域展開について」



▲学校部活動の地域展開の取組を視察（長野市）

新宿区では、プラスチック等資源化事業の沿革やケミカルリサイクルによるプラスチック資源の再商品化計画の策定から実施までの取組と合わせ、モバイルバッテリー等の小型充電式電池が内蔵されているものの処分について学びました。

富山市では、マテリアルリサイクルによるプラスチック資源の再商品化計画の策定から実施までの取組及び実施後の課題や課題解決に向けた取組を学びました。

長野市では、推進計画を基に検討段階から実施の様子、実施後の課題や今後の展望など学校部活動の地域展開についての取組を学びました。各取組を参考に、市政への提言につなげてまいります。

## 沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会

令和7年10月30日～31日

岐阜県各務原市 「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」

愛知県東海市 「名鉄常滑線・河和線（太田川駅付近）連続立体交差事業及び太田川駅周辺整備」



▲建物内に整備された屋内遊戯施設を視察（各務原市）

各務原市では、民間活力による都市公園の整備手法である Park-PFI 制度を活用した、にぎわい拠点の整備の取組を学びました。また、KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE では、現地を見ながら、公園の管理運営を行う民間事業者からの説明を受け、官民連携による取組を視察しました。

東海市では、連続立体交差事業・土地区画整理事業・市街地再開発事業を三位一体とした太田川駅周辺地区におけるまちづくりの取組を学びました。また、太田川駅では、実際に駅前を歩きながら説明を受け、本事業によって形成されたまちの様子を視察しました。

各取組を参考に、今後も鉄道高架を中心とした魅力あるまちづくりに向けて調査研究してまいります。





# 委員会の

## 総務経済委員会

令和7年11月5日～7日

埼玉県川越市 「小江戸のまちなみを活かしたまちづくり」

秋田県大仙市 「大曲の花火を活かしたまちづくり」

岩手県遠野市 「クラフトビールによる観光まちづくり」



▲はなび伝統文化継承資料館はなび・アムを視察  
(大仙市)

川越市では、小江戸のまちなみを観光資源として保存・活用するのみでなく、地元産業との連携や季節イベントによる集客を通じて持続可能な観光まちづくりの取組を学びました。

大仙市では、大曲の花火という地域ブランドを活かした観光・商業・農業・教育等の分野への波及施策、インバウンド需要の獲得に向けた情報の発信方法及び観光教育の推進施策の取組を学びました。

遠野市では、クラフトビールを地域の観光資源とするためのプロジェクトを立ち上げ市民・企業・行政が地域資源を育てる持続可能な観光まちづくりの取組を学びました。

各取組を参考に、市政への提言につなげてまいります。

## 建設水道危機管理委員会

令和7年11月5日～7日

神奈川県三浦郡葉山町 「ウォーター PPP 事業の実施に向けた取組」

宮城県 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」

栃木県栃木市 「空き家対策」



▲宮城県上工下水一体官民連携運営事業の取組を視察  
(宮城県)

葉山町では、民間のノウハウと経営能力を活用し、長期的な視点で水インフラを管理するウォーター PPP について、コンセッション（レベル 4.0）及び管理・更新一体マネジメント（レベル 3.5）という複数のモデルを段階的に導入・検討しており、事業実施に向けた具体的な取組を学びました。

宮城県では、水道・工業用水・流域下水道を一体化して民間のノウハウを長期（20年）・性能発注ベースで活用する全国でも先進的なコンセッションモデルである「みやぎ型管理運営方式」の取組を学びました。

栃木市では、空き家の実態調査及び所有者アンケートの結果に基づき、空き家バンク、解体・リフォーム補助、耐震補助といった多様な支援策を組み合わせた取組を学びました。

各取組を参考に、市政への提言につなげてまいります。



二十歳の議会参加者  
(金岡地区)

いしはら  
石原 ちなつさん



二十歳の議会参加者  
(今沢地区)

すぎもと  
杉本 蒼良さん

### 出会い

私は二十年間沼津で育ちながら多くの人に出会いました。その出会いの中には、私を認めてくれた人、楽しませてくれた人、一緒に成長してくれた人、時には間違っていると教えてくれた人、様々です。私は人と出会うことで自分を高められると感じていて、一人では気付けなかった考え方や価値観も人と関わることで広がりました。来年度挑戦する長期留学でも、さらに多くの人と出会うはずですし、その出会いを通して自分自身を成長させ、出会いをくれた沼津と沼津で出会った人たちに恩返しができる大人になります。

### 夢への旅路

二十年はあっという間でした。サッカーや受験に奔走した日々は、夢が生きる原動力になると教えてくれました。今の夢は「人はなぜ生きるか」という問いに、宇宙の研究を通じ理学的に答えることです。明確な答えは難しいかもしれませんが、しかし、自然と街が調和する沼津での生活で、夢は叶わなくていい、途中で変えてもいいのだと気づきました。結果より道程で得た経験や出会いを大切にできれば、人生はきっと豊かになります。夢を追う過程そのものが、私を輝かせる宝物なのです。

## 沼津の未来を担う二十歳が市政を問う

二十歳を迎えた市民の代表が議員役を務める二十歳の議会が、令和8年1月11日に市議会本会議場で開催されました。

今年は18人が参加し、代表して4人が、「若年層の地元志向の向上」、「国際教育の推進」、「広報を活用した市民の市政に対する意識向上」、「沼津駅南口周辺の活性化」について質問し、市長と教育長が答弁しました。

また、参加者それぞれが、「これからのわたしと沼津」をテーマに、沼津への思いを語りました。



【二十歳の議会に関するお問い合わせ】  
生涯学習課 ☎ 055-934-4871

当日の動画を  
YouTube で配信中！



議会だより次回発行予定  
令和8年6月1日



UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより編集委員会

委員長 尾藤 正弘  
副委員長 小澤 隆

委員 高橋 秀子  
委員 小泉 宣子

委員 大川敬太郎  
委員 山下富美子

委員 佐藤健一郎